

パワーあふれる投信会社 社員コメント集

■ラグビーワールドカップに学ぶ 【直販部／尾関】

このレポートを読まれている頃は、決勝が行われている頃でしょうか。台風による中止の影響を受けましたが、それでも我が家は2試合観戦に行きました。にわかファンの私たちにはラグビーのルールは難しいのですが、そもそもこのスポーツの前提にある理念は、そのプレイが正々堂々、紳士的なものであるかということだそうです。これは普段の生活でも大切な振る舞いですが、今の私はそれができているのでしょうか。皆さんにも伺いしてみたいのですが、普段関わる人に正々堂々と紳士的に対応していますか？余計な一言をつけたり抜いたりして余計なメッセージを伝えていませんか？ 私もこれからは紳士的になれるよう精進します。

■子育ては終盤戦？！ 【運用調査部／斉藤】

娘は試合で負けた涙を親に見られないように、テニスコートを後にするのに時間をかけるようになりました。息子は交代させられた悔しい気持ちをサッカー場からの帰りの車中で多弁に振舞うことで整理しているようです。あつという間の10年、人間の芯の部分への親の関与の終わりに哀歓を感じつつ…残った役目は教育費、同時期にあるファンド仲間の人生も想像し調査業務へも合が入ります。

■突破口を見出して！ 【運用調査部／大澤】

「さわかみファンド20周年記念感謝祭キャラバン」が関東ブロックを皮切りに10月から始動しています。感謝祭の中で長年お付き合いくださっている女性のお客さまから、「どんなに大きく値動きしようと、任せただけだから不安に思ったことは一度もない。始める前に澤上篤人さんの本も読んだし、主婦の私が会社まで行って、その会社なりや社員の人となりを見てから決めたことだから」と言っていました。「これから私たちに期待することは？」と伺うと、「若い人たちにも長期投資が広がるように、さわかみ投信がその突破口をみつけてほしい」とのこと。期待に添えるように明日からまた頑張ります。

■プロとは何か 【情報システム部／江藤】

プロバスケ(Bリーグ)の観戦にすっかりはまっている私に、さわかみグループの社員から「バスケを一言で言うと何ですか？」と聞かれ、改めて考えてみました。私にとってバスケ(Bリーグ)とは、プロとは何かを考えさせられるもの。お金をいただくという意味ではプロバスケ選手も私も一緒なはずで、選手のプレーを見ながら「今週、私はこんなに本気で仕事やったかな、いや、まだまだできるな。」と再確認する場になっています。

■レユニオン島、100マイルの旅 【運用調査部／佐藤】

夏休みは南インド洋に浮かぶレユニオン島を166km駆けてきました。世界トップクラスのトレイルランナーが集い、年に一度島中が湧きたつレース。灼熱の陽射しと凍てつく霜を味わいながら、火山群を上り下りすること累積標高9,611m、完走率は6～7割。「フィニッシュできるか？」と不安になる暇があるなら、自分を信じて「どうすればフィニッシュできるか？」に集中する。そう気づかせてくれたのは、過酷さそのものではなかった。各国の選手、ボランティア、庭先から手を振る子供たち。誰もが懸命にゴールを目指すランナーにエールを贈ってくれる。みんな仲間、そう思える嬉しさがゴールまで背中を押し続けてくれた。個人も、チームもその点は同じではないのかな？ 48時間36分の旅は、強さの源も教えてくれた。

■評判って何？ 【直販部／大野】

住まい近くの商店街は東京でも有数のラーメン激戦区です。せっかくの機会なので、体調が悪くなるほど食べ歩いてみた結果わかったことがあります。人がたくさん入っているところが決してうまいわけではないということです。結局一番うまかったのは、私がいつも行っている少し閑散とした店でした。みなさん評判の良い店で食べることに満足していて、自分の味覚で満足しているわけじゃないというのが私の感想です。せっかくなら自分がうまいと感じる店を応援したいですね。

■四季報読み合わせの会 【運用調査部／中川】

さわかみ投信では、たくさんのイベントがありますが、私は「四季報読み合わせの会」を開催しています。世の中には、まだまだ知らない面白い会社があるので、みんなで探していきたい！という思いから始めました。今年の春から始めて、今月で3回目の開催になります。読み合わせの仕方としては、1000番台から9000番台まで9人で担当します。そして担当者は自分の担当の中から「この会社面白い！」とか「こんなビジネスがある！」とか「社会貢献してるよね！」とかの観点から気になった会社を発表します。いろいろな人の見方があり、フリートークの中でも多くのアイデアをもらうことができ、私自身とても楽しんでいます。これからも、さわかみ投信の仲間と「思い」を共有していければと思います。

■異動しました 【運用調査部／藤沼】

この10月に直販部から運用調査部へ異動になりました。入社以来ずっと直販部にいましたが、その間多くのお客さまの励ましもあり、ここまでやってこれたと実感しております。新しい仕事に慣れるのもなかなか大変ですが、これからもお客さまのご期待に応えられるよう、心機一転頑張ります。